

第19回Wリーグ プレーオフ《クォーターファイナル》

勝利チーム ヘッドコーチコメント要旨



JX-ENEOSサンフラワーズ

(レギュラーシーズン 1 位)



■佐藤 清美 ヘッドコーチ

Q. クォーターファイナルの戦いを振り返って

A. トーナメントなのでとりあえず 1 点でも勝てることができればと思い試合に臨みましたが、このような結果になったので本当に良い試合ができたと思います。

Q. 短期決戦での戦いとなるがどのような準備をして臨むか

A. シャンソンの丁ヘッドコーチのことですから、色々なことをやってくると思います。今日のような形で JX-ENEOS#0 吉田のところを離れてきたり、インサイドヘダブルチームを仕掛けたりすると思いますが、そういったところの対策を今週はしっかりやっていきたいです。

Q. 自身のチームで期待している選手は

A. みんなに期待したい。強いて一人を上げるならば、#52 宮澤。3 ポイントもですが、今日の試合ではリバウンドも積極的に取りに行っていたのでリバウンドにも期待しています。

Q. セミファイナル／ファイナルに挑む意気込みは

A. とにかくファイナルに残れるように、セミファイナルを勝ち抜いていきたいと思います。

第19回Wリーグ プレーオフ《クォーターファイナル》

勝利チーム ヘッドコーチコメント要旨



シャンソン化粧品 シャンソンVマジック

(レギュラーシーズン 4 位)



■丁 海鎔 ヘッドコーチ

Q. クォーターファイナルの戦いを振り返って

A. 今日の試合は本当に難しい状態でした。シックスマンの3人全員（#10 増岡、#23 鈴木、#25 井澗）をケガで欠く
中、5人だけでどうすれば勝てるか本当に悩みましたが、#9 加藤がシックスマンとして活躍したことで試合の流れ
が変わり本当に良かったです。この状態で選手の気持ちが一つになって戦えたことは嬉しいですし、すごいことです。
セミファイナルでどれだけ戦えるかはわかりませんが、やったー！という感じで選手みんなを誉めました。

Q. 短期決戦での戦いとなるがどのような準備をして臨むか

A. 誰が見ても7対3のレベル差があります。それでも何が起こるか分からないのがバスケットなので、また準備をして
なんとかします。思いっきりやって、負けても悔いのないような試合をします。

Q. 自身のチームで期待している選手

A. もちろん#6 本川がメインです。本川がシュートを入れる、入れないで全く試合の流れが違ってきます。#6 本川は
特にここ1,2試合は調子が良くありませんでしたが、今回は思いっきり彼女らしいバスケットをやってほしいです。

Q. セミファイナル／ファイナルに挑む意気込み

A. JX-ENEOS は強いチームですが、奇跡が起きることを期待しながらやります。